

MA-WH68シリーズ



最初に
ご確認ください

- マウス本体 1台
- 直付けレシーバー 1台
- 単4電池(テスト用) 2本
- 取扱説明書 1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は自社の商標又は登録商標です。 **サンワサプライ株式会社**

目次

| | |
|----|------------------------------------|
| 1 | ワイヤレスマウスの接続手順 |
| 2 | 特長 |
| | 警告 |
| 3 | 健康に関する注意 |
| | 対応機種・対応OS |
| 4 | マウスの準備(電池の入れ方) |
| 5 | マウスの接続(USB接続の場合) |
| | ・本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合) |
| | ・レシーバーを接続・USBポートによる接続(Mac OS Xの場合) |
| 9 | IDの設定方法 電源のON/OFF |
| 10 | 本製品の使用方法 |
| | ・左ボタン・右ボタン ・ホイール(スクロール) |
| | ・ホイールボタン(スクロールボタン) ・ズーム |
| 11 | ご使用上の注意 |
| | ・Windows Meで本製品をお使いになれる場合 |
| | ・Windows Me/98SE/98でご利用の場合 |
| | 「故障かな...と思ったら」 |

最新の情報はインターネットで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

サポート情報
ドライバのダウンロード
よくある質問(Q&A)
各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。



ご質問、ご不明点などがございましたら、ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご利用の場合に限り品質を保証しております。万が一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
保証書をご提示いただけない場合。
所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。
お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
- 5)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 6)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 7)保証書は日本国内においてのみ有効です。

サンワサプライ株式会社

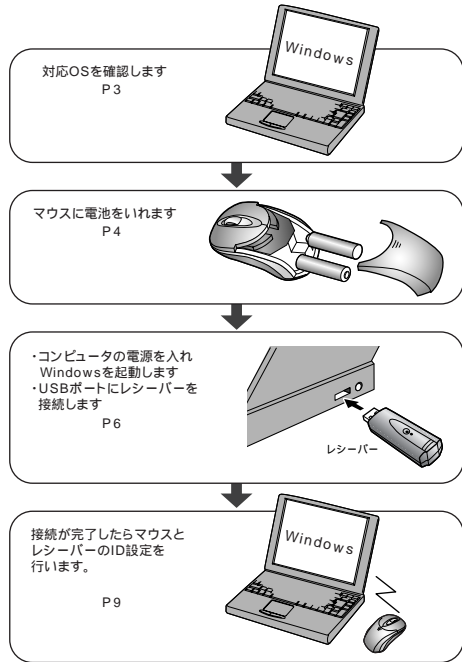
2007.2

岡山サブライセンター 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サブライセンター 〒140-8586 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目5-10 マンション札幌 ☎011-811-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 〒980-0851 仙台市青葉区榴木1-6-7 宝栄ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 〒453-0015 名古屋市中区椿町1-6-7 カジヤマビル ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 〒532-0003 大阪市淀川区豊島4-1-4 新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前6-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
 金沢 ☎076-222-8384

07/07/TMCC

ワイヤレスマウスの接続手順

マウスを接続するポートにより異なります



詳細は各ページをご覧ください。

特長

この度は、ワイヤレス オプティカルマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、直付けレシーバーなのでデスク周りもスッキリ。電池式なので、携帯・モバイルにも便利です。ボールを使わないオプティカル方式(光学式)で、チリやホコリがたまってもボールの動きがスムーズでないといいことがない、メンテナンスフリー構造になっています。本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせるとお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載パソコン
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
Apple iMac、iBook、Power Mac G5・G4・G3シリーズ
USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

対応OS

USB接続:Windows Vista・XP・2000・Me・98SE・98及び
Mac OS X(10.2以降)
Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

機種により対応できないものもあります。
この文章中に記載されるそのほかすべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

3

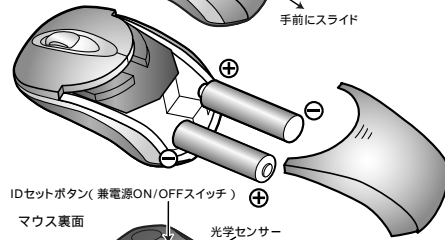
マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウスの電池カバー(④)を押しながら、手前に引いて取り外してください。マウスに付属の単四乾電池を2本入れ、電池カバーを取り外したのとは逆の手順で取り付けてください。電池を入れる際、電池の方向には注意してください。(下図参照)
2. マウス表面の光学センサーが光っている事を確認します。もし光学センサーが光っていない場合は、電池の方向を確認してください。
3. 電池の残量が少なくなると、電池残量LEDが点滅します。
マウスの電池は、通常の使い方において約3週間～が目安になっています。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。)電池交換の際は、単四アルカリ乾電池をご使用ください。

マウス表面

④ 電池カバー

手前にスライド



IDセットボタン(兼電源ON/OFFスイッチ)

マウス裏面

4

マウスの接続(USB接続の場合)

本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず最初にUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかを確認してください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(Windowsの場合)

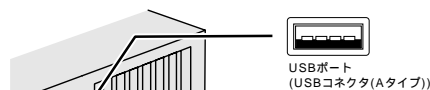
BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

5

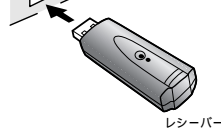
マウスの接続(USB接続のつづき)

レシーバーを接続(Windowsの場合)

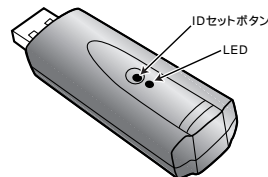
注意: マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお勧めします。コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



USBポート
(USBコネクタ(Aタイプ))



レシーバー



(裏面へ続く)

6

マウスの接続 (USB接続のつづき)

自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
Windows Vistaの場合
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」、「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
Windows XP・2000・Meの場合
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」、「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
Windows 98・98SEの場合
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

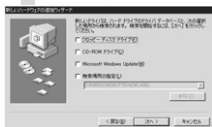
新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス----- 次へ



検索方法を選択してください。
• 使用中のデバイスに最適なドライバ
を検索する(推奨) ----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータ
ベースと、次の選択した場所から検索
されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)
を入れずに ----- 次へ
もし、検索場所を開いてきたら、
✓ 検索場所の設定(L)

C:¥WINDOWS¥INF
もしくは、
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

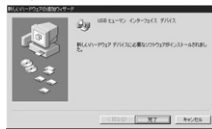
もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROM
ドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライバ
(C)にチェックを付けてください。

7

マウスの接続 (USB接続のつづき)



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス ----- 次へ



USBヒューマンインターフェイス
デバイス----- 完了

接続が完了したら、ID設定方法(9ページ)へ。

USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)

コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
接続が完了したら、ID設定を行います。(9ページへ)

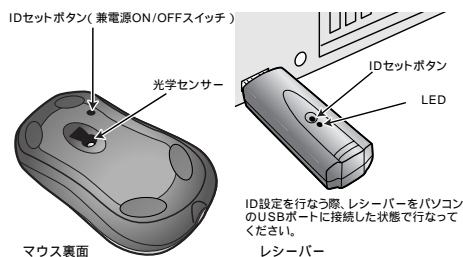
Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、
Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能な
アプリケーションのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げに
よる動作はサポートしません。

8

IDの設定方法 ID設定はパソコンにマウスを識別させる作業です。

レシーバーの接続が完了したら、マウス/レシーバーのID設定の確認作業
を必ず行なってください。

パソコンの電源を立上げた際、マウスの動作がスムーズでなかったり、動作し
なかった場合は、下記の手順に従ってID設定を行なってください。マウスが正
常に動作する場合、ID設定を行なう必要はありません。



ID番号を設定する前に①(マウスの裏面の光学センサー)が点灯していること
を確認します。

もし点灯していない場合は、電池が正しく入っているかを確認してください。

1. ペン先等を使って③(レシーバー)のIDセットボタンを押します。
2. ④(レシーバーのLED)が点灯します。
3. ④(レシーバーのLED)が点灯している間に②(マウスのIDセットボタン)を
1回だけ押し続けてすぐに離します。
4. ④(レシーバーのLED)が消灯したら、ID設定は完了です。
5. マウスを動かした際、⑤(レシーバーのLED)が点滅します。
IDは1~256通りあり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使
用範囲内でご使用の際に、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、
このID設定を再度行ってください。

パソコンによっては、電源立上げ時にこのID設定を行なう必要がある機種が
あります。

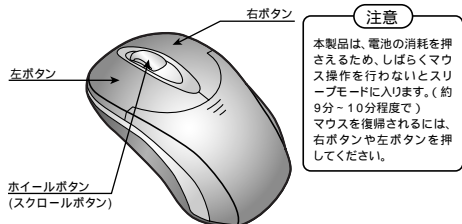
電源のON/OFF

マウス裏面の(電源ON/OFFスイッチ)を3秒程度長押しすると、光学セン
サーが消灯し、電源がOFFになります。電源をONにするには、 を軽く一度押
してください。光学センサーが点灯します。

9

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールな
どの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすること
ができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。
本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE
97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーシ
ョン(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



注意
本製品は、電池の消耗を押
さえるため、しばらくマウ
ス操作を行わないとスリ
ープモードに入ります。(約
9分~10分程度で)
マウスを復帰させるには、
右ボタンや左ボタンを押
してください。

左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンは
Windowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いま
すし、またポップアップメニューの表示もすることが出来ます。左利きの方など
は「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更
可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、この
ホイールを前後に回転させて使います。

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用
する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画
面がスクロールします。
このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97
用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を
変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが
簡単に入ります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。
「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回させると、倍率が下がります。

10

■ ご使用上の注意

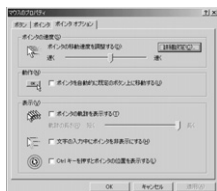
本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

Windows Me で本製品をお使いになれる場合

「コントロールパネル」 「マウスのプロパティ」 「ポインタオプション」 「詳細設定」のポインタの加速度(A)のチェックマーク(✓)を外してください。(Windows 2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

Windows Me/98 SE/98 でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



■ 「故障かな...と思ったら」

Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

- A.
1. マウス裏面の光学センサーが光っていない場合、スリープモードに入っている場合がありますので、右ボタンや左ボタンを押してください。また、電池が正しく挿入されているか確認してください。(4ページ参照)
 2. レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は9ページ参照)
 3. 電池残量LEDが点灯している場合、電池寿命の合図です。また、電池残量LEDが点灯していても、光学センサーが光らなくなった場合、電池寿命がもたれませんが、電池を交換してみてください。付属の電池(単四乾電池×2本)はテスト用です。(4ページ参照)
 4. 光学センサーが点灯していない場合、電源のON/OFFスイッチを一度軽く押してみてください。
 5. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. マウスをしばらく操作しないと、マウスが全く動かない。

- A.
1. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させたい場合は、右ボタンや左ボタンをクリックしてください。(10ページ参照)

■ 「故障かな...と思ったら」(続き)

Q. マウスカーソルの動きがスムーズでない。

- A.
1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
 2. 他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、ID番号の設定をやり直してみてください。
 3. レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、0.2m - 1mの間でご使用ください。
 4. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
 5. ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
 6. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A.
1. ハイカラーモードを選択してください。
 2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。